

検診を受けた後は…

検査結果で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を受けてください。
また、気になる症状がある場合や要医療となった場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
※精密検査は保険診療(有料)です。

江戸川区のがん検診を受けましょう!

『がん』は早期発見により 80~90% 治ります

がんは日本人の死因の第1位であり、死亡数は年々増え続けています。しかし、診断と治療の進歩によって早期発見・早期治療で治せるがんも増えてきています。例えば胃がんの場合、早期*であればほとんどが治癒します。早期のがんは自覚症状がないことが多いため、症状がなくとも定期的ながん検診を受けましょう。








※臨床病期(ステージ)が1期の場合

- 肺がんは80%以上、大腸がん、胃がん、乳がん、子宮頸がんは90%以上。
- 診断時からの5年純生存率です。純生存率は「対象となるがんのみが死因となる場合を推計した生存率」です。
- 院内がん登録生存率集計報告書においても2014~2015年5年生存率から、相対生存率に代わり純生存率が採用されています。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」

受けて安心
元気なときこそ!
がん検診

江戸川区のがん検診の種類

 大腸がん	 肺がん
 胃がん	 前立腺がん
 乳がん	 口腔がん
 子宮頸がん	



江戸川区のがん検診を今すぐチェック!

がんにかかる人の約1/4は40~64歳の働く世代!

がんは高齢者に多い病気ですが、がんにかかる人の約1/4は40~64歳であるため油断は禁物です。30歳を過ぎたら(子宮頸がんは20歳を過ぎたら)定期的ながん検診を受けることが大切です。



注目情報

- 日本では年間約100万人が新たにがんにかかっている
- そのうち約1/4が40~64歳の働く世代

がんに対するこんな“思い込み”ありませんか?

- 思い込みその1** 自分はきっとがんにかからない
日本人の約2人に1人が、がんにかかるといわれています。がんは誰もがかかる可能性のある身近な病気です。
- 思い込みその2** 健康には自信があるので大丈夫
がんはさまざまな要因で起こる病気です。どんなに気を付けていても完全に防ぐことはできません。
- 思い込みその3** 検診でがんが見つかるのが怖い
がんは今や不治の病ではありません。早期発見・早期治療のためにがん検診を活用しましょう。

4~6ページであなたのがん危険度を今すぐチェック!

令和8年4月発行

無料

江戸川区 がん検診に行こう！

実施期間：4月～3月

INFO詳細はこちら
区ホームページ
(Multilingual)



検診種類	対象	会場	申し込み	検査内容	詳細
大腸がん	40歳以上	各健康サポートセンター・江戸川区医師会医療検査センター・区内指定医療機関のいずれかで検便容器を受け取り、採便後に提出	<ul style="list-style-type: none"> 健康サポートセンター：月～金（閉庁日を除く）の8：30～17：00 江戸川区医師会医療検査センター：月～土（休業日を除く）の8：45～17：00 区内指定医療機関：診療時間内 	便潜血検査	P. 4
胃がん	30歳以上	江戸川区医師会医療検査センター（船堀4-1-1 タワーホール船堀6階）	<p> 03-5676-8818</p> <p>月～土（祝日・休業日を除く）8：45～17：00</p> <p>ネット予約 </p> <p>江戸川区がん検診予約 </p> <p>注）内視鏡は電話受付のみ</p>	胃部エックス線（バリウム）	P. 5
	50歳以上（うち内視鏡は前年度未受診者）			胃部エックス線（バリウム）または 内視鏡	
乳がん	30～39歳の女性	<p>マンモグラフィのみ下記2院でも受診可。予約時に申し出を。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京臨海病院（臨海町1） ● 江戸川病院（東小岩2） 	<p></p> <p>江戸川区がん検診予約 </p> <p>注）内視鏡は電話受付のみ</p>	エコー	P. 5
	40～64歳の女性（うちマンモグラフィは前年度未受診者）			エコー または マンモグラフィ	
	65歳以上の前年度未受診の女性			マンモグラフィ	
子宮頸がん	20歳以上の前年度未受診の女性	区内指定医療機関	区内指定医療機関に直接申し込み	視診・細胞診・内診	
肺がん	40歳以上	江戸川区医師会医療検査センター（船堀4-1-1 タワーホール船堀6階）	<p>月～土（祝日・休業日を除く）の受付時間帯（9：00～15：00）に左記会場へ</p> <p>※予約不要</p>	胸部エックス線 ^{かくたん} ・喀痰細胞診	P. 6
前立腺がん	60・65・70歳の男性	<p>前立腺がんは下記区内指定医療機関でも受診可</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前立腺がんの区内指定医療機関 		血液検査	
口腔がん	40歳以上の前年度未受診者	区内指定歯科医療機関	<p>①事前に区へ電話（03-5661-2463）または区HPから（電子申請）</p> <p>②郵送された受診券番号通知書をもとに希望の会場に予約</p>	視触診（歯科医師の判断により細胞診を実施）	P. 7

注意事項 ● 入院中・妊産婦（可能性を含む）・施設にお入りの方は検診の対象外となります。 ● 検診の種類により1年に1回または2年に1回受診できます。 ● 受診の際は本人確認ができる書類を持参してください。 ● 受診の際はマスクの着用をお願いする場合があります。 ● 治療や精密検査が必要になった場合は自己負担（保険診療）となります。 ● 検診結果は区で保存し、健康施策・保健事業等に活用します。

がん検診の種類

対象年齢・年度末（3月31日現在）の年齢



大腸がん 日本人に最も多いがん

大腸がんは日本人の罹患数第1位で、増加傾向にあります。日本人ではS状結腸と直腸が、がんのしやすいところです。食生活が肉食中心の欧米型になったことが、大腸がん増加の原因と考えられています。

大腸がん危険度チェック

- 肥満である
- 直系の親族に大腸がんにかかった人がいる
- 身長が高い
- お酒をよく飲む
- たばこを吸う
- 赤肉(牛・豚など)、加工肉をよく食べる



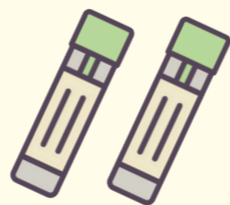
受けよう! 大腸がん検診

対象

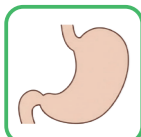
40歳以上
1年に1回

検査項目

便潜血検査



便潜血検査では、便に潜む血液の有無を調べます。大腸がんやポリープなどがあると、便の中に血液が混じることがあります。受診者が専用の検査容器に2日分の便を採取して提出します。



胃がん 日本人に多いがん

胃がんの罹患率は依然として高く、胃がんにかかる人は50代から、特に男性で増加します。治療成績が良いため、早期発見できれば治癒が見込める比較的治りやすいがんです。

胃がん危険度チェック

- たばこを吸う
- 塩辛い物をよく食べる
- ピロリ菌に感染している

ピロリ菌

ピロリ菌は胃粘膜にすみつく細菌で、胃がんのリスクを上げることが分かっています。感染したからといって必ず胃がんになるわけではありませんが、感染が分かった場合は除菌療法が勧められます。



受けよう! 胃がん検診

対象

30歳以上

検査項目

胃部エックス線(バリウム)
または内視鏡
(内視鏡は50歳以上の前年度末受診者)



胃部エックス線撮影はバリウムを飲み、胃の内部をさまざまな角度から撮影します。内視鏡は粘膜の変化などを調べることで、微小ながんを早期に発見することができます。



乳がん 女性が最も多くかかるがん

乳がんは罹患率・死亡率ともに増加傾向にあり、女性がかかるがんの第1位です。乳がんにかかる人は30代から増加し始め、50代前後を中心に最も多くなります。早期発見でほぼ治癒するため、治りやすいがんといえます。

乳がん危険度チェック

- 初経年齢が低い
- 閉経年齢が高い
- 出産経験がない
- 初産年齢が高い
- お酒をよく飲む
- 乳がんの家族歴がある(母親・娘)
- 閉経後の肥満
- 運動不足

※その他の乳がんリスク要因として、エストロゲンを含む経口避妊薬の使用、閉経後の長期のホルモン補充療法などがあります。

受けよう! 乳がん検診

対象

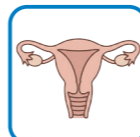
30歳以上の女性
(マンモグラフィは前年度未受診者)

検査項目

エコーまたはマンモグラフィ(40歳以上)
対象年齢等による詳細はP.2~P.3参照



マンモグラフィは乳房を上下左右から挟んで撮影する専用のエックス線検査装置で、小さながんも発見できます。



子宮頸がん 20歳を過ぎたら注意が必要

子宮がんには、子宮頸がん(腔に近い部分)と子宮体がん(子宮の奥の部分)の2種類があります。子宮頸がんは若年層で増加傾向にあるため、20歳を過ぎたら検診が必要です。子宮体がんは中高年層で増加傾向にあります。江戸川区では医師が必要と判断し、受診者が同意した場合に体部細胞診も実施します。

子宮がん危険度チェック

子宮頸がん

- たばこを吸う

⚠ 子宮頸がんの発生にはHPVの感染が関わっており、性交渉で感染することが知られています。多くの場合は感染しても免疫によって排除されますが、HPVが排除されずに感染が続くと、子宮頸がんを発症する場合があります。

子宮体がん

- 閉経年齢が遅い
- 出産経験がない
- 肥満である

※更年期障害などのホルモン療法における、エストロゲン製剤の単独使用も、子宮体がんのリスク要因となります。

受けよう! 子宮頸がん検診

対象

20歳以上の前年度未受診の女性

検査項目

視診・細胞診・内診



細胞診では、ブラシなどで子宮頸部を軽くこすり、採取した細胞を顕微鏡で見て、異常があるかどうかを調べます。



肺がん 日本人のがん死亡数トップ

肺がんは日本人のがん死亡数第1位。最大の原因はたばこで、喫煙年数・本数が多いほど肺がんのリスクが高まります。また、受動喫煙も肺がんのリスクを高めるため、注意が必要です。

肺がん危険度チェック

- たばこを吸う
- よく受動喫煙にさらされる



たばこの肺がんリスク

- 日本人を対象とした研究によると、非喫煙者に対する喫煙者の肺がんリスクは、男性で4.4倍、女性で2.8倍という結果が出ています。禁煙はいつから始めても効果があるので、思い立ったときにぜひ実行しましょう。

※アスベストなど有害物質を取り扱う仕事に従事している人も、肺がんのリスクが高くなるので注意が必要です。

受けよう! 肺がん検診

対象

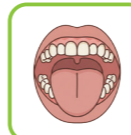
40歳以上
1年に1回

検査項目

胸部エックス線・
喀痰細胞診



胸部エックス線は気軽に短時間で受けられる検査です。喀痰細胞診は、痰を採取して肺がんの細胞が混じっていないかを調べます。



口腔がん 増加傾向で男性に多い

口腔がんとは、口の中にできるがんの総称です。詳しく分類すると、舌がん、歯肉がん、口底がん、頬粘膜がんなどに分類され、舌がんの頻度が半数以上を占めています。

また、口腔がんができると痛みや出血があり、話す・咀嚼する・飲み込むなどの機能を低下させます。進行するとリンパ節などに転移することも。早期発見が重要です。

口腔がん危険度チェック

- たばこを吸う
- お酒をよく飲む
- 歯を磨かない、入れ歯の掃除をしない
- 偏食がある(ビタミンや鉄分不足)

受けよう! 口腔がん検診

対象

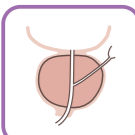
40歳以上
2年に1回

検査項目

視触診
(歯科医師の判断により細胞診を実施)



申し込み後、受診券をもとに予約が必要です。お口の内の異常がないかを目で確認します。触診はゴム手袋を付けた指で触り、しこりや盛り上がっているところがないかを調べます。



前立腺がん 日本人男性に急増中

前立腺がんは高齢の男性に多いがんです。欧米の男性に多いがんですが、近年は日本人男性でも増加しています。他のがんに比べて比較的進行が遅いのが特徴ですが、男性がん死亡数全体の約6%を占めているため油断は禁物です。

前立腺がん危険度チェック

- 高齢である
- 前立腺がんの家族歴がある

前立腺肥大症に要注意

- 早期の前立腺がんには症状はほとんどありませんが、前立腺肥大症を同時に発症することが多く、その症状が出る場合があります。排尿障害の症状が出てきたら要注意です。



受けよう! 前立腺がん検診

対象

60・65・70歳の男性

検査項目

血液検査



少量の血液を採取して、前立腺から分泌されるPSAという物質を調べます。PSAは前立腺に異常があると血液中に流れ出す量が増えるため、検査の指標として用いられています。

がん検診のメリット・デメリット

がん検診の目的は、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことで、がんによる死亡リスクを減少させることです。また、すべてのがん検診には、メリットとデメリットがあります。がん検診の検査方法についても、がん患者の診療としては有用ですが、検診で使用した場合の効果十分に確かめられていないものもあります。がん検診のメリットとデメリットを正しく理解し、正しい知識を持って受診しましょう。

メリット

- 早期発見・早期治療により、命を守ることができます。
- がんが早期に見つければ、身体に負担の少ない治療ですみます。
- 検診結果が【異常なし】であれば、がんではないと分かり安心できます。

デメリット

- 大きさや部位等によっては、がんを発見できない場合があります。
- がんでもなくとも【要精密検査】と判定され、不要な検査や治療を受ける場合があります。
- 検査によっては、出血などがおこる場合があります。